



# 清 泉

令和5年11月14日  
昭島市立清泉中学校  
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1  
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

## 「花鳥風月」に想う

「花鳥風月」とは、ある辞書では「自然の美しい景色。また、自然の風物を題材とした詩歌や絵画などをたしなむ風流」と説明されています。

先週、本校の体育館渡り廊下の壁面に4枚のパネルが掲げられました。これは、本校美術部3年生が制作した「花鳥風月」です。私はどうしても「花鳥風月」というとまず頭に浮かべるのは、伊藤若冲や尾形光琳をはじめとする江戸時代の構図です。私はその屏風絵などの作品から、日本の自然の美しさと日本絵画の静かな中にある真の強さなどを感じることがあります。

さて、本校の花鳥風月から、何かの枠にはめられた構図ではなく、現代を生きる生徒の、柔らかくもあり大胆、強くもあり繊細で、物憂げ、そのような感性を私は感じます。まさに、今の中学生の心の中にある思いの1景色を見ているような気がします。

作品が完成に至るまでには、時間と労力を費やしたことでしょう。自分の考えや思いをもちつつ、そのイメージを見える化する。今回の作品は共同作品ですから、個人のそれぞれの思いや考えを仲間と伝え合い、理解し合い、ときにはぶつかりあい、「試行錯誤」と「調整」の日々だったことでしょう。構図はもちろんのこと、1つの“色”も共有したイメージに近づくために何度も何度も塗り重ねられたことでしょう。

.....

## ある日の授業に想う

廊下から授業の様子を見ていた時、ある教員が生徒に次のような声かけをしていました。

「全力でよく考えてみる。全力を使ったけれど分からなかったら、便覧（生徒が持っている参考となる資料）から探してみる。」と穏やかな表情で生徒に伝えていたのです。

私はその指示に『納得！』と思い、次の教室へと向かいました。

教育の中で「協働的」「対話的」という言葉が重視されています。大切なことです。しかし、それを支えるのは個人です。前職の時に、問題が示された直後「分からなければ隣の人に聞いていいよ」「班になってプリントの内容を考えよう」と指示する場面を見ることがありました。そこに疑問を感じることはありませんでした。自己の考えがあってはじめて、対話はできるし、協働的な学びとなる。そして、自分の力で調べるという価値ある1つの過程を大切にしたいと思います。

学びは「個」から始まり、人と関わりながら深め、「個」の力として確実に身に付けさせていきたいと考えています。



＝保護者の方へのご連絡（途中経過）＝

今年度の夏の暑さの状況と生徒会からの意見も踏まえながら、来年度の夏服のポロシャツについて検討しています。

（理由）夏の気温が上昇している。カッターシャツの代わりにポロシャツ着用も認められているが、白色であり下着が透けるためベストを重ね着している生徒が多い。これでは涼しいとは言いがたいので、生徒会本部が実施したアンケートを基に、生徒会本部の意見も踏まえながら、下着が透けにくい色の学校指定のポロシャツの導入を検討しています。購入は自由です。

\*従来のカッターシャツや白のポロシャツ（学校指定ではない物）は着用可能。